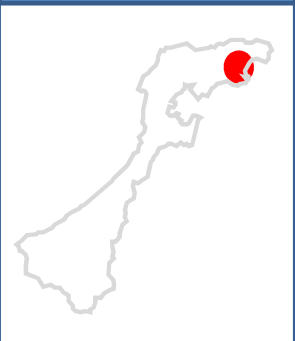


- 九十九湾(小木地区)の地域特性に即した、体験プログラム及び、商品の開発(観光、食事、加工品、体験・インバウンド対応等)を行う。
- また、観光の基本コンセプトを作成し、商品の開発(再掲)と併せて、地域の雇用・ビジネス化を推進する。
- 農泊にかかる人材育成・組織づくりのため、観光と地域再生の専門家を招聘し、ワークショップを行う。

石川県能登町



【採 択 年 度】
平成30年度

【事業実施期間】
平成30～31年度

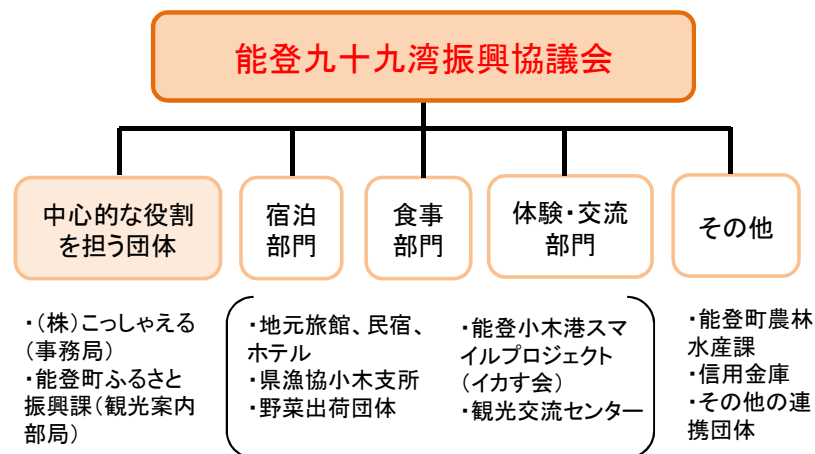


能登九十九湾



風光明媚な湾内

【実施体制】



【特徴的な取組】

- 九十九湾のコンセプトに即した体験プログラムの開発・提供
- 特産品のイカを使ったレストランメニューの開発・提供
- 地域資源(伝統文化含む)と誘客の情報発信
- 着地型ワークショップによる人材育成の実施



イカイベント(掴み取り等)



イカ料理の開発と研究

【取組内容】

「まだ見ぬ、オギ・九十九湾」をテーマに、着地型観光＝地域の独自性を売りに、メジャーな観光地では味わえない体験を打ち出すモデルを目指す

- 推進体制の強化とインバウンドへの対応
 - ・オープンする「観光交流センター」との連携
 - ・風光明媚な海をテーマとしたレジャー、特産物のイカを活用したイカす町づくりと滞在型の検討
 - ・英語版ホームページの整備
- 地域の特性を活かしたモニターツアー
 - ・九十九湾の地形、特産品のイカ料理などの魅力を発信
 - ・着地型に係る新たな集客方法について検討
- 体験プログラムの開発
 - ・既存(2種)のメニューに加え、「SUP、フィッシング、シュノーケリング、イカの掴み取り体験」を開発
- 新メニュー(食事)の開発に係る取組
 - ・インバウンド向けのイカ料理(フレンチ、イタリアン等)の開発



インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約